

10 「家庭学習の充実」を図るにはどうすればいいの？



家庭学習を充実させる方法や家庭との連携について知りたいです。（10年経験者の声）

家庭学習を充実させることは、学習習慣の定着を図り、学習内容を定着させるのに有効に働きます。そのことにより、主体的に学ぶ態度を育成することができます。

では、「家庭学習の充実」を図るため、教師はどうすればよいのでしょうか？

家庭学習の充実を図るには、授業と家庭学習を接続するために、課題の出し方や評価方法を工夫することが大切です。また、家庭学習に関する全教職員の共通理解や家庭への継続した協力依頼も重要です。



授業と家庭学習を接続する課題や評価方法の工夫

子どもが家庭でもっと学習したいと思う「分かる・楽しい授業」

授業

子どもの家庭学習での取組を生かすことを意識した授業

○ 課題の出し方の工夫	
同じ質・量の課題	例：漢字練習、音読 正しい書き方や読み方などのポイントを示す。
個人差に応じた質・量の課題	例：個に応じたプリント学習 自分の習熟度に合った課題を選択させる。
教師が示したものの中から自分で選択できる課題	例：新聞記事をまとめて発表 課題の取り組み方について、具体的に説明する。
自分で創意工夫できる課題（自主学习）	例：ことわざ調べと意味を説明するイラスト作成 ページ数や時間を指定する等、目安を示す。
○ 学習意欲の向上を図る評価の工夫	
課題の確認と適切なアドバイスやコメント	□小さなことも見逃さずにタイミングよく。 「楽しかったことが伝わってくる作文ですね。」
よい取組は具体的に褒めて紹介	□取組の過程での努力や工夫などを認める。 「最後まで丁寧に書けるようになりましたね。」
課題への取組の成果を実感できる評価問題	□課題の範囲から出題し、自信を持たせる。 「先週の宿題をよく頑張った成果ですね。」
課題への取組で見られた成長を保護者へ情報提供	□連絡帳や学級通信等で伝え、共通の話題にする。 「問題が速く正確に解けるようになりました。」

全教職員の共通理解・家庭との連携

全教職員の共通理解

- 家庭学習の意義や学校の方針について、全教職員で共通理解を図る。
- 学校全体で課題の出し方（質や量、教科間のバランス）や評価方法について話し合い、「家庭学習の手引」等を作成する。
- 家庭学習充実期間などを設け、学校全体で取り組む意識を高める。
- 教師同士が家庭学習について話し合う機会を持ち、効果的だった課題については情報を共有する。

家庭との連携

- 保護者が課題に関わる場面（音読の確認等）を意図的に入れることで、保護者に学校の学習に関心を持ってもらったり、学習内容を知ってもらったりする。
- 発達段階に応じた子どもへの具体的な関わり方を示した資料を校内で作成し、家庭訪問や懇談会などで保護者に説明する。

<説明資料例>

家庭学習についてのお願い

小学校の学習は、人間形成の基礎となる大切なものです。特に、学習意欲や粘り強く課題に取り組む態度など、家庭学習も含めた学習習慣の確立に当たっては、小学校の低・中学年の時期が重要です。趣旨を御理解いただき、御協力賜りますようお願いいたします。

【家庭学習を通して育てたい子どもの姿】

- 時間を大切に使うことができる。
- 学習習慣を身に付けている。
- 基礎的・基本的な知識・技能を習得している。

【家庭での学習習慣確立のためのポイント】

- 時間や場所を決めて学習させる。
- 子どもの頑張りを受けて言葉を掛ける。

【子どもとの関わり方】

- 話に耳を傾ける。
 - ・うなずきや相づちを返すことで、子どもはうれしくなります。
- 子どもの頑張りを認める。
 - ・自分のしていることを認められることは、何よりの自信になります。
- 子どもの成長に合わせて対応する。
 - ・低学年では、短時間でも保護者の方が直接関わり、やり取りすることによって、学んだことが心に残ります。問題を出し合って答えるなどという方法も楽しいと思います。
 - ・学年が上がるに従って、一人で取り組むことを促し見守るようにしましょう。そうすることで、子どもの主体性が育まれます。子どもが理解度を把握できるように、初めは一緒に見直し、徐々に自分で答え合わせまでさせましょう。振り返る習慣が身に付くと、確実な理解につながります。
 - ・子どものことを気に掛けている姿勢は大切です。言葉は掛け過ぎず、目は掛け続けましょう。

教師や保護者が、適切な場面で温かい言葉を掛けることで、子どもは達成感や分かる喜びなどを味わい、自分で学習しようとする意欲を高めます。

※ 愛媛県教育委員会「家庭学習でステップ・アップ！」が参考になります。

家庭学習のノート展示やノートコンテスト等で、互いの取組を知る機会を作ると、子ども同士が刺激し合いながら、自分なりの工夫を加えて家庭学習に取り組むことも期待できます。